

を紹介し震波の傳播狀況を見て震央地決定に至れる諸説を縷述し、各地に於ける震度の狀況より震動及び震動方向に及び、特に裂震區に於ける模様を詳説し地震の爲起つた斷層、隆起、陥没、山崩等の土地變動に就いて述べ其の甚だしかつた被害の詳密なる報告を収めてゐる。後紀に於ては發震當初より此の大災の各地方に傳りし經過を述べ、畏くも皇室の逸早く御賑恤あらせられしを始め當局陸海軍赤十字社新聞社等官民の熱烈なる救援救護狀況より、交通及び通信機關の復舊事情を詳説して、罹災住民の悲惨な體驗を綴つてゐるのは涙なしに讀むことは出来ない。最後に各方面より翕然として集つた同情を謝して復興の模様を述べ、震災軽減の方法は建築物を耐震的ならしむにありと結論してゐる。

著者の博識が隨所に表れ本編の論旨を中斷せる嫌はあるが、學術的な報告は既に多種の出版がある。本書の編述は主として今回の丹後地震を中心とした詳細にして豊富なる資料の蒐集に其の價値があると言ふべきである。

(菊判四六五頁、丹後地震誌刊行會發行、價不明)(村松)

### ● 史學關係諸雜誌の發刊

近時史學の發達著しく、之が研究を目的とする學會の各所に組織せられるものあり而もそれらは各自機關誌を發行して研究の結果を發表せんとするに至つた事は學界の爲め大に喜ぶべきことである。其内最近の發刊に係るものは九州帝國大學史學會の『史淵』廣島文理科大学内廣島史學研究會の『史學研究』國學院大學内國史學會の『國史學』等で、又京都帝國大學經濟學部教授本庄榮次郎氏同黒正巖氏等を中心とする經濟史研究會からは『經濟史研究』が發刊された。各々清新の氣に滿ち潑刺たる銳氣を以て生れ出でた。吾人は之を迎へるに當り各自の健全に發達して學界に盡さんことを希望して止まない。

### ● 京都史蹟の發刊

十數年來京都に於ける史蹟及び故人の遺業を考查顯彰し或は遺蹟保存の道を講じて可なりの成績を挙げつゝある京都史蹟會が、京都研究に關する權威ある發表機關が無いのを遺憾とし茲に『京都史蹟』を發刊して益々京都研究に邁進せんとするに至つた。其の趣旨は京都郷土史

を歴史、考古學、有職故實、古美術、民俗學、口碑傳説其他あらゆる方面より研究し京都文化の由來する所を闡明し、之を及ぼして日本文化研究の一助たらしめんことをするのである。京都に關する研究は古くから多數の人々に依つて爲されてゐるが、千有餘年の帝都としての遺物古蹟頗る多く尙ほ追々發掘發見せられるものもあつて今後も研究を重ね調査を行はねばならぬ事物が頗る多く殘されてゐる。それらの新發見事物を紹介し或は新たに研究し調査した事を發表して世人に知らしめることは最も有益にして且つ興趣の多い事業である。本誌が此の目的の爲めに生れ出たことは大に喜ばしい事で、漸次發展して京都研究の權威ある雜誌なるに至らん事を希望する。昨年十一月發行の創刊號の内容左の如し。

- 北野神社記録について(一) 文學博士 三浦 周行  
誠心院寶篋印塔 工學博士 天沼 俊一  
王道文化 小西 大東  
京都皇宮の變遷と出土古瓦 川勝政太郎  
京都史蹟彙報

在銘佛一軀を加ふり大德寺龍源院釋迦 中野 楚溪  
洛西勝持寺仁王造像銘現はる 川勝政太郎  
其他口繪、圖版多數あり、年六回發行、一冊五拾錢にて發行所は京都市東洞院二條北入、京都史蹟會編輯部である。